

あなたと共にあゆむ



いまへの

# 議会だより

No. **130**

2002年5月15日発行

[3月定例会]



## ミズバショウ

今別町内にある湿原の中では、春の日差しをいっぱい浴びた純白と淡い緑のミズバショウの群生が点在し咲き誇っている。

- ◇一般会計 平成14年度今別町当初予算 ..... 2～3
- ◇3月議会のあらまし 条例・予算・専決その他 ..... 4～5
- ◇一般質問 「預金保険の保護範囲が変わるペイオフについて」他(5名22項目) ..... 6～11
- ◇レポート 青森地域広域事務組合・青森地域広域消防事務組合 ..... 12～13
- ◇陳情及び研修 ..... 14
- ◇委員構成が変わりました ..... 15
- ◇議会のうごき他 研修・ざんじきゅうけい ..... 16



転落防止柵 L250.0m)

# 高野崎キャンプ場遊歩道整備工事に着手

平成14年度一般会計当  
 初予算は29億8,001  
 万円となり、対前年比で  
 1億3,816万5千円  
 4・4%の減となりました。

これは、職員の減少に  
 よる人件費の減と、今別  
 保育園の改修工事の完成  
 による減額となったのが  
 主な要因である。

予算全体に占める、義  
 務的な経費の構成割合は  
 85・6%と極めて高い比  
 率を示し、一方投資的な  
 経費は14・4%となつて  
 おり依然として財政構造  
 は厳しいものとなつてお  
 ります。

歳入については、自主  
 財源である町税は町民税  
 の落ち込みが対前年比で  
 13・1%、1,246万  
 円の減となっております。  
 よつて、予算全体に占  
 める町税の割合が9・5  
 %と対前年比で0・4%  
 の減となり10%を割り込  
 む状況となり、極めて厳  
 しい状況になっている。  
 地方交付税については

8%、1億4,500万  
 円の減額となつておりま  
 す。国勢調査に基づく人  
 口の減少が大幅減額の要  
 因であります。地方交  
 付税の原資であります国  
 税の伸びなやみから、地  
 方への配分方法の変更に  
 よる減額もあり、この先  
 の財政運営は更に厳しさ  
 が増すことになると思わ  
 れます。

その他の財源としては  
 町債の発行となったもの  
 であり、その多くは過疎  
 債とすることで将来の財  
 政負担の軽減に配慮した  
 が、平成14年度の財源不  
 足2億1,138万円は  
 財政調整基金等の取崩し  
 で対処したものである。

一方歳出において計画  
 計上した事業、施策の概  
 要については、わが町の  
 主要な産業としての農林  
 水産業関係の振興対策に  
 力を注ぎ、農業施設基盤  
 整備促進事業、漁港整備  
 事業、ふるさと農道整備  
 事業など、いわゆる生産  
 基盤の整備を図り産業基

盤と経済基盤の確立に引  
 き続き積極的に予算配分  
 したほか、通年農業の研  
 究調査費を見込んでおり  
 ます。

また、民生の安定と生  
 活環境の整備改善のため  
 小規模治山工事や道路改  
 良、側溝整備、急傾斜地  
 崩壊防止事業・街路灯の  
 新設あるいは患者バスを  
 廃止し、全町に巡回バス  
 を運行し、住民サービス  
 の一層の向上に務めてい  
 きます。

地域エネルギー対策事  
 業としての、風力発電の  
 第三セクターへの増資分  
 については、採算性の問  
 題から今年度の出資は見  
 送ることにしました。

また、少子高齢化社会  
 に対応した、子育てや老  
 人福祉にも気配りをした  
 施策を進めていきます。  
 教育行政については、  
 学校完全週5日制が4月  
 1日から施行されること  
 から子供たちの健全育成  
 にも配慮していきます。



# 一般会計 29

第334回、3月定例会は3月11日招集され、18日までの8日間の会期で開催されました。今議会は新年度の予算を審議する議会でもあり、小鹿正義新町長の施政方針のもと提案された平成14年度の一般会計をはじめ各種特別会計など7件の予算、平成13年度の補正予算、今別町巡回バス運行に関する条例の一部改正など32件、いずれも原案どおり可決されました。

また、議員発議の今別町議会広報委員会設置に関する条例の一部改正を可決し、道路特定財源の確保及び道路整備の促進に関する意見書を採択しました。

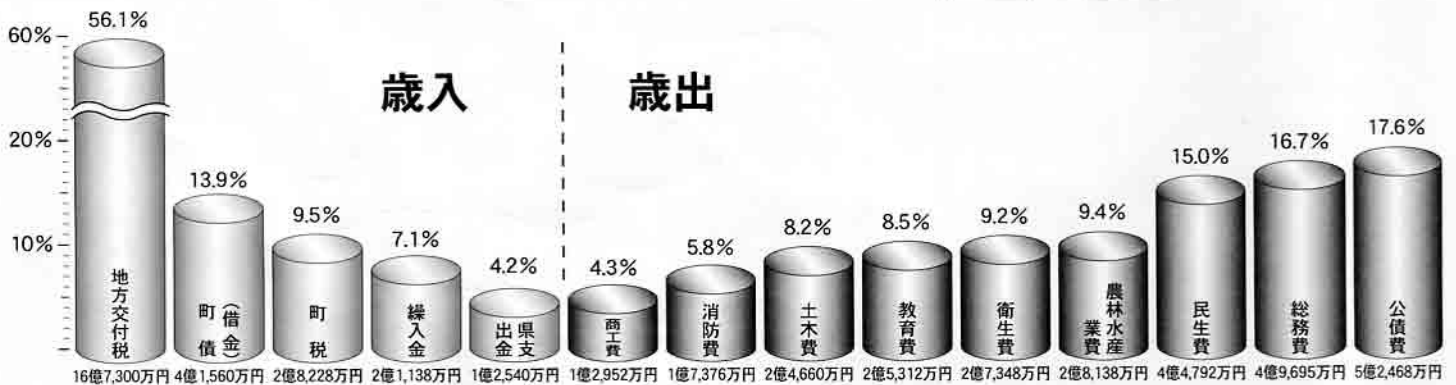
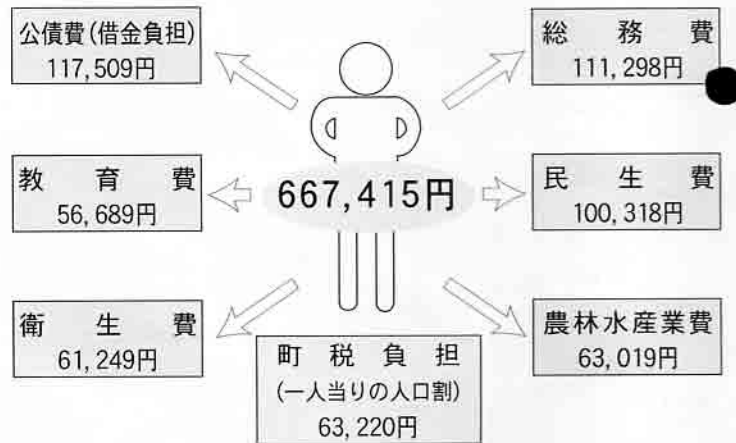
また、今議会には5人の一般質問があり、町政のあり方や将来にむけて進むべき方向について質疑をいたしました。

主な工事（階段工 W2.0m L125.0m

平成14年度当初予算のあらし

会計名		予算額	前年度比
一般会計		29億8,001万円	4.4%減
特別会計	国民健康保険	4億3,836万円	2.4%減
	老人保健	6億2,635万円	0.9%増
	診療施設	2億1,396万円	2.4%増
	介護保険	2億4,754万円	2.1%増
	介護サービス事業	3億5,453万円	11.1%増
水道事業会計	収益的収入	1億325万円	5.6%減
	収益的支出	1億2,445万円	0.6%減
	資本的収入	—	100%減
	資本的支出	3,939万円	54.3%減

町民(4,465人)一人当りの一般会計状況



### 条 例 関 係

- 今別町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴うものであり、改正の概要については、育児休業の対象となる子の年齢を1歳未満から3歳未満に引き上げたことと育児休業をした職員の業務を処理するため、臨時的任用のほか、任期付採用を行うことが出来るためのものである。

- 今別町職員の勤務時間休暇等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴うものであり、改正の概要については、育児又は介護を行う職員の午後10時から翌日の午前5時までの深夜勤務及び時間外勤務が制限されることとなったもの。

- 今別町巡回バス運行に関する条例の一部改正

平成14年4月1日より巡回バスの運行範囲を平館村宇田地区から、三厩

村増川地区まで運行範囲を変更するためのもの

- 今別町地域福祉基金条例の一部改正

地域福祉基金を高齢者の福祉増進等に関する事業に充てるため、基金の処分条項を加えるもの

- 今別町職員の旅費支給条例の一部改正

町長の出張における日当を平成14年4月1日から廃止するためのもの

- 議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

今別町職員の旅費支給条例を準用している部分があり、町長の出張時の日当を廃止する改正に伴い改正するもの

- 今別町国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険税の納期を平成14年4月1日から、これまでの4期から6期とするためのもの

- 今別町観光PRプラザ設置条例の一部改正

観光PRプラザ施設の貸出及び使用料を平成14年4月1日から徴収するためのもの

- 今別町介護保険条例の

一部改正

国民健康保険税の納期を4期から6期に変更したため、普通徴収にかか

る介護保険料の納期も変更するもの

- 今別町国民年金印紙基金条例を廃止する条例

平成14年4月1日より、国民年金保険料を国に直接収納することとなったため、国民年金印紙基金条例を廃止するためのもの

- 今別町管放牧場設置及び管理条例の一部改正

牛海線状脳症の発生により牛肉価格が低迷していることから、畜産農家の経営安定と振興を図るため放牧料を平成14年4月1日から軽減するためのもの

- 今別町手数料条例の一部改正

青森県屋外広告物条例の権限委譲に伴い、町で許可手数料を徴収するた

めのもの

- 特別職員で非常勤のもの

の報酬及び費用弁償条例の一部改正

農政関係の農業者年金加入促進委員、農地流動化対策総合調整委員、農地流動化委員を設けたため、特別職員で非常勤のもの

の報酬及び費用弁償条例の一部を平成14年4月1日から改正するもの

- 今別町課設置条例の一部改正

効率的な行政事務を推進するためと、町民に事務内容がより判りやすい課名とするためのもの

### 予 算 関 係

- 一般会計補正

歳入歳出にそれぞれ29万8千円を減額し、予算総額32億1,502万4千円とした。

歳入の主なものは、利

子割交付金527万6千円の増額、老人福祉施設費負担金120万円減額、保育所入所児童保護者負担金29万4千円増額、中山間地域等直接支払事務費交付金206万2千円、廃止路線

代替バス維持費補助金518万3千円を実績により調整した。今別橋添架管移設工事補償費1,374万5千円増額、起債1、230万円減額の調整。

歳出では、議会費100万円減額、特別職及び職員の人件費80万3千円減額、住民基本台帳構築委託料322万6千円減額、介護保険事業特別会計繰出金26万8千円減額、今別保育園施設改修事業に伴う工事設計管理委託料245万円

施設改修工事費1、470万円をそれぞれ減額、水道事業会計繰出金1、274万円、奥平部地区配水管布設替工事ほかの繰出金1、404万2千円、ふるさと農道緊急整備事業負担金500万円減額

漁港整備事業負担金22万2千円減額、庁舎建設土地調査測量設計委託料100万円、下水道等基本構想策定委託料249万8千円減額、青森地域広域事務組合負担金218万4千円減額

スクールバス購入費110万8千円減額、管内諸大会参加助成金320万円減額、財政調整基金1、509

▲半島プラザ「アスクル」



万4千円、減債基金2、021万7千円等が主なものである

● 国民健康保険診療施設特別会計補正

歳入歳出にそれぞれ900万円を増額し、予算総額3億345万9千円とした。

● 歳入の主なものは、歳入欠陥補填収入900万円増額した。

歳出では、事務事業の進捗状況により所要の額を調整、医薬材料費1、000万円増額した。

● 老人保健特別会計補正  
歳入歳出にそれぞれ1514万5千円を増額し、予算総額6億5、163万9千円とした。

● 歳入の主なものは、医療費交付金1、050万円、医療費負担金300万円、一般会計からの繰入金75万円増額した。

● 歳出では、医療給付金1、500万円増額したのが主なものである。

● 介護保険事業勘定特別会計補正

● 歳入歳出にそれぞれ1038万7千円を減額し、予算総額2億5、128万4千円とした。

● 歳入の主なものは、介護給付費負担金289万8千円減額、調整交付金128万1千円増額、2号被保険者にかかる介護給付費交付金489万3千円、介護予防給付にかかる介護給付費交付金181万1千円、介護給付費交付金にかかる一般会計繰入金を実績によりそれぞれ減額した。

● 歳入の主なものは、施設介護サービス費収入600万円減額したほか、事業の進捗状況により所要の額を調整、施設介

● 歳入の主なものは、施設介護サービス費収入600万円減額したほか、事業の進捗状況により所要の額を調整した。

● 歳出の主なものは、事務事業の進捗状況により所要の額を調整した。

● 介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正  
歳入歳出にそれぞれ324万円を増額し、予算総額3億6、012万2千円とした。

● 歳入の主なものは、施設介護サービス費収入600万円減額したほか、事業の進捗状況により所要の額を調整した。

● 歳出の主なものは、事務事業の進捗状況により所要の額を調整した。

● 水道事業会計補正  
収益的収入では、一般会計からの高料金対策繰入金1、274万円。  
収益的支出では、事業の進捗状況により所要の額を調整した。

● 資本的収入では、配水管更新事業債を事業実績により350万円、出資債にかかる一般会計負担金を事業実績により110万円それぞれ減額した。

### 専決・その他

● 一般会計補正予算（専決）  
農業施設災害復旧工事費5万円を補正計上した

● 補正の財源としては、災害復旧費補助金で措置し、予算総額32億1、032万2千円とした  
● 一般会計補正予算（専決）  
除排雪業務委託費800万円増額、予備費300万円減額。歳入については、財政調整基金500万円取崩し



▲今別橋添管移設工事

## 議員全員協議会開催

1月9日と3月4日、議員全員協議会が開催されました。  
1月9日については行政側から①行財政改革町民会議について②カートレインについて③庁舎建設について④廃棄物処理対策について⑤巡回バス運行等について説明がありました。

● 土地改良事業の施行について  
二股地区・ドロ沢の農業用水施設の改修をおこなうため土地改良法の規定により提案するもの  
● 町道の路線認定について  
新たに公衆用道路として「大川平新町2号線」を町道として認定するもの



▲議員全員協議会（行政側説明）



町

政

を

問

う

一般質問

3月の定例会では、5人の議員が登壇し、当面する町の重要課題について町執行部の考えをいただきました。その主な内容を要約してお知らせします。

建設課長答弁

平成13年度の凍上災害で採択された場所であり、二股地区、西田、大泊地区2箇所、4箇所については内示を受けており、県の設計協議も完了しています。今月中の発注になります。

小鹿勉議員

- ①預金保険の保護範囲が変わるペイオフについて
- ②小学校の統合計画について
- ③町道の補修計画について

出納室長答弁

対応策でありませんが、①経営破綻の恐れのない安全な金融機関を選択②借入金との相殺等金融機関の破綻時に、リスク回避を図る方策ということを考えています。

質問

②年明け早々に関係者と話し合いを行なうと言われましたが、経過をお聞きしたい。

また、今別小学校を改修し、多額の経費をかけたが、まだ改修の必要があると聞きましたが詳細をお尋ねしたい。

長井町教育長答弁

大川平小学校統合についての状況ですが、今後の進め方について、町会長、PTA会長、教育委員会と事前の協議をしたところであります。

その内容としては、PTA会長からの提案で最

質問

①当町の対策はどのようなになっているのか。

町の預金している部分についての、対応をお願いいたします。

長井町答

4月からのペイオフ解禁を控えたわけですが、内容は金融機関が破綻した場合の払い戻しを一定額(元本一、〇〇〇万円とその利息)に制限するも

ので、地方自治体もその対象になっている。

公金管理の現状ですが当町は、財政当局と連絡を密にしながら、借入金との相殺、金融機関の決算状況、県市町村の情報を得ながら、15年3月まで全額保護される普通預金、又は短期定期の更新の対策を講じることとしております。

初にPTAの会合のなかで、それぞれの意見を聞き、町会に報告協議した後、委員会との話し合いを持ちたいということでもとまりました。

出来る限り早い機会を望んでおりますが、地域の方々のご理解とご協力が不可欠という観点から、地区の意見を十分尊重しながら対応して参りたいと考えております。

次に、今別小学校の改修についてですが、平成7年度から木造校舎の大規模改修を実施したところですが、鉄筋校舎の老朽が目立ち、特に窓の開閉が出来ない状況にあります。

また、家庭科室の改修も要望されておりますが財政的なこともあり、計画を立てながら逐次改修に努めて参りたいと思っておりますのでご理解を

質問

③浜名中宇田の踏切付近、二股地区の上の町道のいたみが生じている状況ですが、今後の補修計画の説明をお願いします。

嶋中忠也議員

- ①新幹線駅及びカー  
トレイン・ターミナルと地域整備について
- ②広域観光について

質問

①県民の長年の悲願であった新幹線が2002年に

八戸まで開通することになり、その新幹線の効果を最大限活用するため

に、観光、文化、いろいろな分野に周辺市町村が盛んに議論を重ねているようである。

我が今別町においても「奥津軽」駅という駅舎が決定され、とくに海峡線が開通して13年以上経過しておりますが、何一つ整備されていない、果してこれでよいのか。

平成11年3月に新幹線駅及びカートレイン・ターミナル奥津軽駅周辺整備計画でも指摘されているように、町が主体となって適正な配置と環境に配慮し町が責任をもって土地の先行取得すると

なっているが、その通りであると思う。奥津軽駅周辺整備が本場に必要と考えるならばとりあえず土地の先行取得が必要と思うが町長の所見を賜わりたい。

先般、小鹿町長が先頭に立って議員全員と、カートレイン・ターミナルは、是非今別町へと、国土交通省、JR初め関係機関に陳情してきました。私は、このような陳情を続けることによって、必

ずやカートレイン・ターミナル設置が出来るものと信じております。

小鹿町長がよくいわれるように、我が町にカートレインを設置して頂けるならば、土地は無償で提供することも一番相手に対して効果的であると思えます。

カートレイン問題にしても、新幹線駅舎同様、土地の先行取得をする必要があると思うが御見解を賜わりたい。

**長弁** 町答  
我が町にどのような影響があるかというのを前に

も話しましたが、二股駅の停車が今、3本ありますが、減らされるのではないかと懸念いたしまして、あらゆる機関に陳情しお願いしているところです。

日本鉄道公団で工事実施計画がまとまり、国土交通省に承認申請がなされた。この計画では、北海道新幹線は新青森駅から当町の「奥津軽」駅を経由し札幌までを1時間40分で結ばれる計画です。新幹線については、今

まで同様に、国の関係機関への働きをはじめ県新幹線交通政策課と連携を図っていきたいと思っております。

また、カートレイン・ターミナルにつきましては、「津軽半島青函カートレイン整備促進協議会」の中で今別町のアピールを図りながら、基地が今別町に建設されるよう一層の努力をして参ります。

町としても受け入れのための土地の確保や整備を図っていかねばならないと考えておりますので、議員の皆さんのご協力とご支援をお願いいたします。

**質問**  
② 我が町の観光資源は非常に豊富だと

言われております。

しかし、あまりにも規模の小さい観光地ばかりで、散在していることによつてどうしても通過型観光になってきている現状だと思えます。通過型観光から滞在型にもつていくとすれば、規模の大きな観光開発をしなければい

けない。それに伴う財源がないとすれば近い将来必ず町村合併をしなければならぬ運命にある分です。この際、上磯5町村の広域観光を目指すべきであると思いがいかか。また、そのことによつて、津軽半島全体を売り出す絶好のチャンスだと思えますが、ご見解を賜わりたい。

**長弁** 町答  
通過観光、高野崎等をみると持つてきたゴミを置いてトイレを使つて後は何も残らないというのが、今迄の観光のありかたではないか、これを金のおちる観光にしたいというのが我々の願いであり取り組みもしたいということ

であります。広域観光、今別、三厩、小泊、市浦等を一体として取り組み滞在型観光に移行するというようなことで考えていかなければと思つておりますので何分よろしくお願いいたします。

資源は非常に豊富だと

阿部 多喜男 議員

- ① 町村合併について
- ② 役場庁舎の建設について
- ③ ペイオフ解禁に伴う対応策について
- ④ 町の公共施設の視察について

質問

① 金で身を売るような合併には反対だが、行政の中心が今別町になることを前提に合併を良とするならば、そのためにこそ関係町村長と積極的に話し合いを進めるべきだと思

うがどうか。そして、合併協議会の立ち上げを考

えているのかどうか。● 合併しなくても、国の財政改革の一環として

地方交付税の見直しが行われ漸次削減されつつある中で、果して自立、生き残りの道はみいだせるのかどうか。

● 5町村による合併に関する判断資料、検討を深めるための研究資料、研究成果を町長自身、どう評価しておられるのかお聞きいたします。

② 現庁舎は、既に老朽化して限界の状態にあります。こうしたことから町村合併の有る無しに係わらず、新庁舎の建設は大方の町民の理解が得られるものと信じています。

只、問題は何処に、どのような機能をもった、どの程度の規模の庁舎を建てるのかが多岐の方々の関心事かと思ひます。● 折角新築するのだから、

建物自体の機能性、利便性を十分考慮する必要はあるのではないかと。

●用地が狭いこと、高台になっていてことから当然に周囲の住宅、土地の取得、造成等に相当な費用が嵩むことと思うが、それに対する財政的な目処が建てられるのかどうか。

●庁舎建設に当たっての基本的な構想として、町村合併を前提とするのか、合併を考えないのか、それによって、場所、規模、機能等が大きな課題、条件になると思うがその構想を示して欲しいと思います。

●既に現在地に建設することが既製事実化されていて、何月には開発センターを仮庁舎として、現庁舎を解体するとかの話が巷間伝えられています。が、本当なのかどうか。だとすれば、これまでの職員による検討委員会なり、今別町総合センター建設協議会、あるいは議会の庁舎建設特別委員会などの協議、検討は必要なかったのか。

●14年度中にも事業に着手するような話もあり、国、県への手続き、また、住宅土地等の取得に絡んでの手続きはどうなっているのか説明してほしいと思います。

③14年4月からペイオフが実施されるわけですが、公金の保護対策についてお伺いいたします。

●4月からは定期預金だけがペイオフの対象となるようですが、預金現金保管調書によると、定期預金は2口、併せても1千万円未満の額ですのでそれはいいとして、10億円を超える各種基金の保護対策をどう考えているのかお伺いします。

また、1年後には普通預金もペイオフの対策となるわけですので、各金融機関に預けてある普通預金、通知預金を含めてその対策を示していただきたいと思います。

④去る12月12日、町長をはじめ町の幹部職員、議長、副議長、各常任委員長、監査委員など町の主要な役職員のほか、商工会長、同副会長とい

た人たちによって編成された視察団一行が、町の公共施設の視察を行なったということであり、しかし、きくところによりますと、視察なのか、あるいは実地検査なのか、ところによつては随分と厳しい指摘、評価、批判、批難などが視察団員からあつたということをお伺いしております。

①視察の目的は一体何だったのか②視察を踏まえての総括された内容③商工会長、副会長を視察メンバーとしたのは何か特別の理由、意図があつたのか、その辺についてご説明をいただきたいと思ひます。

長 井 町 答

①12月議会でも、お答えしておりますが、国の財政難から地方交付税が削減されているということも事実であります。この合併というものは私一人個人のものではない、町民がどう考えるのか、町民の生活がどうなるのかこれが基本です。

上磯5町村の首長が集まる会合の中でも合併の

話は出ますが、それぞれの町村の事情もあり、突っ込んだ議論にはなっていないところがございます。が、これからの機会あるごとに私の考えを伝えて行きたいと思っております。

②次に庁舎建設についてですが、先の12月定例議会や行財政改革町民会議の場において、私なりの考え方を申し述べて参りましたところですが、

建物全体計画等については市町村合併の問題も関連しますので、今後は用地取得と併せまして、議員各位並びに建設委員会等の意見を聞きながら進めて参りたいと思っております。

また、建設費やそれに伴う財源等については、町財政担当課や県市町村振興課など各関係機関と協議を重ねながら計画に着手したいと思っておりますので、議員皆さんのご協力をお願いします。

④公共施設の視察団についてですが、(視察の目的について)町の公共施設の費用対

効果の視点や、財政状況の視点等の見直しが必要でないかと、各関係機関の場からの意見を提言して頂き、町の行政運営への反映を図る事を目的としたものである。

(視察の反省会、検討会の総括について)

現地において施設の長より利用状況等について説明を求め、費用対効果について「何か削減できるものはないか」質問がなされ、視察後の全体検討会において総括として、再点検、再精査し、今後の行財政運営に反映させなければならぬと思

てます。

(商工会を視察メンバーとした事について)

行政の視点からだけでなく企業経営の面からも意見を提言して頂くために商工会を代表して会長、副会長の同行をお願いしたものであります。

室 納 出 長 答 井

③とにかく安全な金融機関の選択ということですが、状況に注目して行かなければならぬだろうとこれが1点であります。

これからもっと良い方法がないか更に、県、国等の情報を得ながら研究していきたいと思ひます。

宮 本 清 七 議 員

- ① 褒月漁港、作業道入り口の危険性について
- ② 町村合併に伴う町内の整備について
- ③ 新庁舎建設計画の内容について



質 問

① 婁月漁港への道路の入口は、国道280号線にあり、カーブと急勾配で非常に危険を感じるところである、地域住民の生活道路でもあり解消に向けての町長の考えを示してほしい。

● 婁月坂落石危険防止策の調査、拡幅整備ですが青森側より順次という答弁から進展がない。

● 予算と継続性は確保されているかと思えますので、今後は、町長の前向きな姿勢と責任ある計画実行が必要と考えます。

● 婁月坂における除雪作業対策についてもお聞かせください。

● 婁月漁港先端表示灯については、早速の整備を感謝いたします。停泊船係船環の取り替えについて、その後どうなっているのかお知らせください。婁月は宅地がないため婁月坂拡幅整備に対する立ち退きに備えての埋め立て整備を考えてはどうか。

また、婁月港には航海船を守るといわれている

弁天様が祀られています、その上の280号線のカーブよりバイクや車の転落事故が過去にも発生し弁天様をお参りする方の安全も考え遊歩道を造つたらいかがかと思うが。

② 町村合併に伴う町内の整備についてですが、町村合併問題が別としても避けて通れないのが現状です。町として合併に備えての整備を急ぐべきで他町村に比べ遅れていると感じます。

町民所得向上を視野に入れた観光整備などが考えられますが、合併に備えての町長の所感をお尋ねいたします。

観光整備について、助役は元観光課長としての要職にありました、どのような計画、実行されてきたのかお聞かせください。

観光課としては、高野崎を滞在型の観光地にするためにはどのようなことが考えられますか。

新庁舎建設計画の内容についてですが、概要については総務文教常任委員会において、担当課長

よりの説明をもとに議論され、その結果についてはおおむね納得しております。

③ また、新庁舎建設については元々賛成ではあります、役場庁舎は通常業務だけでなく、事故、事件、災害時の対策本部にもなりますので、建設地が開発センター周辺であれば非常時にもセンターの使用など利便性が高まるかと考えるが、町長の考えをお聞かせください。

① ご質問の箇所については、大変危険な場所であり、はやく直さなければと私も常日頃から考えております。

長 弁  
町 答

交通安全上危険な場所であり、県との協議、用地関係など、詳しく調査させていただきますのでご了承願います。

② 町村合併に伴う町整備についてはお尋ねでございますが、合併が有る無しに関わらず、生活環境の整備は進めて行くつもりです。側溝の整備(融流雪溝としても利用でき

る施設)をしたいと考え

ておりますが、利用できない水源の調査等から着手したいと思っております。

今年の研究調査のための経費を予算化してこれからの振興策の足掛かりとしたいと考えておりますのでご理解願います。

③ 庁舎建設であります、いろいろ、阿部議員にもお答えしましたが、場所はどうなるのか、宮本議員の考えだと、確かに広い場所は良い訳ですが、今別の事情を考えた場合どうするか、私もあの辺をいろいろ考えた訳であります。

いずれにしても調査しなければわかりません。近々、即急に結論を出して行きたいと考えておりますので、ご了承いただきたいと思っております。

課 長  
建 設 課 答 弁

① 婁月の坂については、過去にも何回か落石があつて土木事務所でも状況を知っています。

拡幅については、その地区迄くるに何年かかるかわからないので、悪いところは随時要望し

て行きたいと思っております。

また、除雪作業については、下の家に雪が落ちないように、現在ガドレーを2段にして除雪を行なっております。

課 長  
産 業 課 答 弁

① 係船環の取替えのお願いについては、県にはまだお願いしていないとの事で、今後、東部漁協とも協議し東青漁港事務所にお願ひして参りたいと考えております。

埋め立て整備についてありますが、婁月坂拡幅整備計画があつた場合は東青漁港事務所にお願ひしたいと考えております。

遊歩道の建設でございますが、漁港区域内であるため、今後は県と漁港整備計画策定等の中で協議していかなければならない場所と考えられるため、町観光担当課とも協議して行きたいと考えております。

① 宮本議員の質問にお答えしたいと思っております。

私にお聞きの際は

どのような計画でどう実行してきたのか、私自身は、観光も産業の一つであると認識しております。

また、春もみじの実行に対してもその一つであり、観光のめだまとして、地域の商工団体、両漁協にお願ひをし、関係する機関との調整を図りながら、一連の観光産業を進めたつもりであります。今後においても観光産業を前提として、担当課も取り組んでいかなければと思っております。

施設の整備を図るべき予算の措置もしていただきながら、今後、町の観光産業も、県外に劣らないように整備していき

のも一つかと思っております。

課 長  
商 工 課 答 弁

② 夏は数多くの観光客が利用され滞在型観光施設として脚光を浴びております。

しかし、観光客入り込みは依然として横ばい状況であることから「通年観光」を目指すことが大事であると考えます。魅力ある観光地の形成を目指

佐藤 豪 議員

すため、将来の構想として関係機関と検討して参りたいと思っておりますのでご理解頂きたいと思っております。

### 1. 不況の状況及び雇用と暮らしを守る対策をどのように考えているか。

- (1)不況は今別にどのように反映しているか。
- (2)福祉事業の拡充で雇用の拡大を。

**質 問** (1)今別町においても工場閉鎖、事業縮小、更に三蔵村の縫製工場の閉鎖、賃金不払いなど、出稼ぎなどにもいろんな形で不況が反映してきているのではないかと考えます。

町民税の減収も当然のこと見込んでいますが不

況の実態は至るところに現れています。町としてこうした実態をどの程度具体的につかんでいるのか伺います。

(2)今別町は特別養護老人ホームなかやま荘で、これまでの3・5に一人の介護人の基準を3人に一人の介護へと改善を図

り3人雇用の拡大を図った指報告がありました。緊急地域雇用特別交付金の活用事業も盛り込まれているところであり、私は、まだまだ不十分だと考えているが、もっと福祉事業の拡充を図り雇用の拡大を図って行くことができるかと考えます。

今一つは入所児童数の拡大の問題、入所していない児童の大半は3才未満児で、もっとも保育料の高い部分ですが、こうした方が入所しやすくして保育児童を増やし、この分野でも雇用の拡大を図ることができるのではないかと考えますが、答弁を求めたいと思っております。

**長 井 町 答**

(1)・(2)我々が何をしなければならぬかと、強く印象づけられた質問であると、私はその質問に対して非常にうれしく引きとめているところであります。

町内事業所の閉鎖などが続いているということ、は誠に残念であります。そういうなかで、町民の非常に感心のある問題で

福祉事業を拡充し雇用の拡大を図るべきでないかということ、は、ごもっともであります。

介護員を増員する予算を計上したところであり、ますが、今回の措置が、即、他の事業に反映できると

いう状況にはないかと思っております。厳しい町の財政事情もご理解頂きたいと存じます。

### 2. 町の行政改革の報告・方針及び協議事項における町の考え方について

- (1)嘱託職員の採用のあり方について応募者数何名か
- (2)残業の扱いについて
- (3)町のバス運行について
- (4)道の駅アスクルの運営について
- (5)海峡の家の運営について
- (6)ゴミの減量対策と有料化の問題について
- (7)町村合併について
- (8)風力発電について

質問

(1)嘱託職員、全員について期間終了というところで一旦解雇、新たに全ての人員について再募集するというものでした。

また、応募者数何名だったのか具体的な説明をお願いします。

(2)残業内容を精査し以下に押さえるとしていますが、住民サービスの後退を招くことはないか。

また、必要な仕事がおざなりになることはないか、可能な範囲で説明を求めたいと思います。

(3)患者バスを廃止し、全町に巡回バスを運行するとの方針を提起しました。

患者の待ち時間での不便はないかどうか。

また、一本木浜におけるフリー区間の設定はどうなっているか、念のため伺います。

(4)観光施設の活用との矛盾と町の負担の増大から見直しとなったものが4月1日からの商工

会委託の解約で緊急に新たな対応が求められますがどうなっているのか。

道の駅アスクルの存在の位置づけ、役割をどのように考えどのような改善策をとるのか伺います。

(5)冬場の閉鎖や営業の縮小が言われているが、営業成果向上に誰が責任を持つて、営業活動が行なわれてきたか、明らかにして頂きたいと思いま

す。

(6)今別のゴミを青森梨の木工場へ搬送しなければという実態を迎えようとしているが、大変な搬送費がかかるため、根本的にゴミの減量化を図つて、コンポストによる肥料化、更にきめ細かな分別対策、具体的な対応を図つて行くべきと思うが関係者の答弁を求めたいと思

います。

(7)上磯5町村の合併研究成果と問題点について今回研究会の資料が提出

されましたが、今別地域のメリットはほとんど見られない、何のための協議会であつたのか、町長

の所見を改めて伺いたい。

(8)風速状況がどうなっているか伺います。風速はきわめて弱く、大変だなと認識しているのは町長と同じです。また、事業の見通しがないということ、事業の精算をす

るという話ですが、今後の見通しについて改めて伺いたいと思

います。

長井町答

(1)採用にあつては、現職の嘱託職員も雇止めとし新規の応募者と同じ扱い

としたいと思つております。採用基準の作成にあつては役場職員以外の意見も取り入れ公正、公平を確保したいと思つて

おります。

(2)職員の残業について通常業務の延長と認められる残業については、手当てを支給しないこととし、担当課長には厳しく

残業事務内容を吟味して命令を出すように指示しております。

(3)巡回バスの運行経路につきましては、常任委員会等でお知らせしておりますのでご理解頂きたいと思

に利用する方は無料と考えています。その確認方法等を検討中ですのでご理解願います。

(4)平成9年から管理運営について町商工会に委託していましたが、今月をもって委託契約が終了することになりました。

先般、テナントを募集し「アスクール」運営について検討して

おりまして、テナントの申込みはありませんでした。

町では4月1日から道の駅「アスクール」の運営を、多少営業時間は変わりますが、食堂部門と物産販売等を直営で運営することとしました。

(5)海峡の家は12月から3月まではほとんどお客さんがありません。行財政改革町民改革で経費問題が議題になつて

いるところですが、施設はいろいろな面で有効に使つて

いただかなければ意味がない、これからどうもつていくのか大きな議論になります。当然幾

月地区の方々とも相談しなければならぬ事項だと考えています。

(6)ゴミ処理経費を抑制するためには、減量化が大きなポイントであり、住民一人一人の理解と協

力が欠かせません。ゴミの有料化については、青森市に費用を負担して焼却することとなる。

今回を契機にして、実施に移させて頂きたいと考えていますので、是非ご理解を賜りたい。

(7)町村合併の資料を読めば読む程矛盾がでてきます。町村合併につきま

しては、1番阿部議員にお答えしたとおりでございますのでご理解願います。

(8)風力エネルギー利用協議会で、この事業により町の財政を圧迫するよ

うな事になれば困る事であり取り止めしたい旨の発言した事を検討事項として述べました。

採算性の不安、資金確保の困難、耐用年数、風速の状況、以上のように不安要素があります。現状は非常に厳しいものが

ありますので、ご理解を頂きたいと思

役弁助答

基準の内容は3点程ございまして一つは、なかやま

庄については、特別問題がない限り経験を考慮すべきである。二つめは、嘱託職員の夫婦について、

これまで採用されておりましたが、地域住民からも提起されておりましたので十分検討して頂きた

い。三つめとして職場におけるマンネリ化仕事に対して効率性に欠ける者

については考えて頂きたい。嘱託職員も公務員に準ずる者であるので町民の模範となることを強く

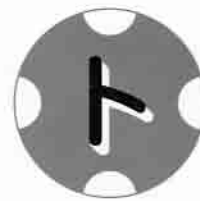
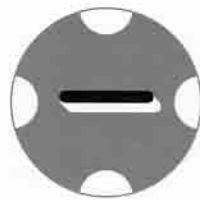
求められるなかで採用決定にあつて頂きたいと言われました。

募集人員62名、現在、嘱託職員55名、55名中、

応募した方が48名です。新規に応募された方が56名と、合計104名です。

このなかで1名辞退者がいます。町長に報告し意見を求めて決定して頂きます。





# 青森地域広域 事務組合

平成14年度

◎ 一般会計予算

15億9023万円

◎ 公立大学特別会計予算

19億7778万円

◎ 青森地域事務組合

管理者 佐々木誠造 (青森市長)

議員25名 (うち今別町2名)

事務組合の清掃業務については、近年の地球温暖化に伴う環境破壊が世界的規模で進みつつあり環境保全が大きな社会問題となつてきております。

一般廃棄物については構成市町村一体となつて有価資源物としての再利用を図るとともに、ごみの減量化を促進していきます。

また介護認定審査会事務については、要介護者に対する介護保険制度の円滑な運用に資するため

引き続き要介護認定の公平・中立を確保するとともに、その社会的信用を高めるべく努力していくこととした。

平成14年度当初予算は15億9,023万余円となり平成13年度当初予算に比較して10・8%の増となった。

その要因としては、し尿処理施設等の建設にかかる長期債の償還開始に伴う公債費の増によるものであります。

▽歳出の主なものとして総務費組合運営費に要する経費8,327万余円、介護認定審査会運営費8,072万余円、衛生費として、し尿処理

施設2ヶ所・ごみ処理施設5ヶ所・斎場2ヶ所の管理運営費7億5,163万余円。また、青森地域広域ふるさと市町村圏基金の果実の運用により事業を行う広域市町村圏振興費(広域情報ネットワーク推進事業、広域観光推進事業、スポーツ・イベントの開催等)1、689万余円、公債費6億5,375万余円

▽歳入として、構成市町村からの負担金14億5,694万余円、青森地域広域ふるさと市町村圏基金運用収入1,268万余円

また、その他の収入と



▲ 青森公立大学

して、施設使用料、繰越金等を計上した。

◎公立大学特別会計

平成14年度当初予算は19億7、778万余円

▽歳出の主なものとしては、学部及び大学院に係る人件費、教員研究費、教育費、学生経費、就職活動費、図書館運営費、地域研究センター運営費及び管理運営費等の一般管理費15億9、649万余円、交流施設管理費2、898万余円、公債費3億5、231万余円

▽歳入として、青森学術文化振興財団からの公立大学研究費助成交付金1、998万円、構成市町村負担金10億2、409万余円、使用料及び手数料として、授業料、入学検定料及び入学金7億2、106万余円、交流施設管理業務受託収入1億1、862万円、財産収入等9、402万余円

# 青 森 地 域 広 域 消 防 事 務 組 合

## 平成14年度

### ◎一般会計予算

# 42億5271万円

平成14年度予算総額42億5、271万8千円

歳入の主なものとしては、分担金及び負担金39億1、201万9千円計上、各市町村の分担額については、青森市34億649万1千円、蟹田町1億2、542万5千円、今別町1億5、001万5千円、蓬田村6、464万3千円、平館村6、439万5千円、三厩村1億105万円となっております。

使用料及び手数料につきましては、危険物検査手数料等77万2千円、国庫支出金につきましては消防防災設備補助金883万8千円、県支出金につきましては、石油貯蔵施設立地対策等交付金1、917万3千円、諸収入につきましては、青森市から委託を受けております青森市消防団業務運営費等2億2、666万4千円、組合債7千820万円を計上した。

歳出の主なものは、議会費208万円、消防事務組合運営費及び高速道路救急業務費並びに監査委員費1億852万円、事務組合管内の消防業務運営費40億3、445万7千円を計上した。また、青森市から委託されている青森

市消防団運営費については、消防団の運営費のほか、消防団の装備施設の充実を図るため、消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプ付積載車等の購入に要する経費として、2億805万3千円を計上した。公債費については、1億756万1千円を計上した。

青森消防署については消防業務運営費及び職員人件費のほか、隊員の災害現場における救助技術等の向上を図るため、実戦訓練が出来る訓練塔の建設事業費、また高齢化の進展、疾病構造の多様化等を背景に、増加傾向にある救急需要に対して救命士の養成と高規格救

急車の更新に要する経費さらには、防災資機材の運搬用防災連絡車の更新に要する経費等として、32億4、050万3千円を計上した。

蟹田消防署については蟹田分署の消防業務運営費及び人件費のほか、庁舎補修に要する経費及び救急救命士の養成に要す

る経費等として、2億4、269万1千円を計上した。

今別消防署については今別分署の消防業務運営費及び職員人件費のほか、車庫及び掲示板の新設に要する経費等として、2億4、321万円を計上した。



▶老朽化し移転建設が待たれる  
広域消防「今別分署」

# 陳 情 及 び 研 修



▲日本鉄道建設公団盛岡支社陳情

1. 北海道新幹線（新青森・札幌間）環境影響評価の終了に伴う工事実施計画の認可申請について（お礼）  
この度、北海道新幹線（新青森・札幌間）の環境影響評価が完了したこ

陳情  
町議会では、平成14年2月5日～6日にかけて小鹿正義新町長と1北海道新幹線（新青森・札幌間）環境影響評価の終了に伴う工事実施計画の認可申請のお礼と2青函カートレイン・ターミナルの設置について関係機関へ要望しました。

ち望んでおり、今後の工事実施計画が速やかに認可され、新青森と新函館までの同時開業がぜひ実現されますよう切望しているところでございます。貴職の益々のご発展とご活躍を心からご折念申し上げてお礼の挨拶とさせていただきます。

2. 今別町に「青函カートレイン・ターミナル」の設置について。（要望）

とに對しまして、貴職のお力添えの賜ものと衷心より厚くお礼申し上げます。

今別町は、津軽半島地域の豊富な観光資源や本州と北海道、日本海と太平洋の結節点という地域発展の重要な位置を占めております。

このことから、わが町としても、一日でも早い北海道新幹線の開業を待

1. 北海道新幹線（新青森・札幌間）環境影響評価の終了に伴う工事実施計画の認可申請について（お礼）

2. 今別への「青函カートレイン・ターミナル」の設置について（要望）



▲県選出国會議員陳情

ターミナルと地域整備計画」を策定し、「奥津軽農村公園」するなど、鋭意その実現に向けて努力しているところでございます。

については、北海道新幹線の駅舎位置とルート概要が公評され、本州側ではJR津軽海峡線「津軽今別駅」付近に新幹線駅として仮称「奥津軽」駅が関係機関のご努力により決定されたところであ



▲国土交通省陳情

青函カートレインの整備促進は、青函トンネルの一層の活用方策であるとともに、北東国土軸を形成する有力な手段であり、津軽半島はもとより21世紀における東北・北海道地方の発展に大きく寄与するものと大いに期待されているところであります。

わが町としても、「新幹線駅及びカートレイン・

津軽半島地域全体の起爆剤として大きな期待を集めている「奥津軽」駅に「青函カートレイン・ターミナル」基地が設置されますと相乗・波及効果が大いに期待されることから、ぜひともわが町に設置してくださるよう格別のご高配を賜りたくご要望申し上げます。



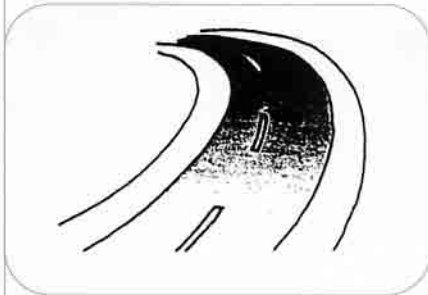
▲日本鉄道建設公団陳情



◎委員長 ○副委員長

### 産業建設常任委員会

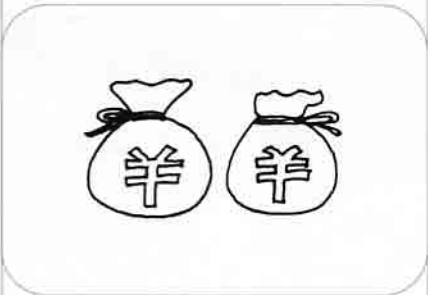
- ◎ 阿部修吾
- 明田平苗
- 小 鹿 勉
- 長 島 三千次
- 宮 本 清七
- 嶋 中 春 光
- 島 中 春 光



農林水産課、建設課、商工振興課、農業委員会の所管に関する案件を詳細に調査審議する機関

### 総務文教常任委員会

- ◎ 中嶋保昌
- 佐藤豪
- 阿部多喜男
- 嶋中忠也
- 阿部信一
- 齐藤喜代光
- 平山順一



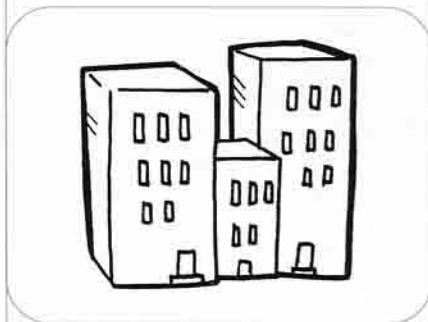
総務課、企画政策課、税務課、環境福祉課、住民保険課、教育委員会及び他の課に属しない事務事業に関する案件を詳細に調査審議する機関

# 委員構成が変わりました

3月定例会で、2常任委員会・議会運営委員会・総合センター建設特別委員会・議会広報委員会の委員構成が変わりました。

### 総合センター建設特別委員会

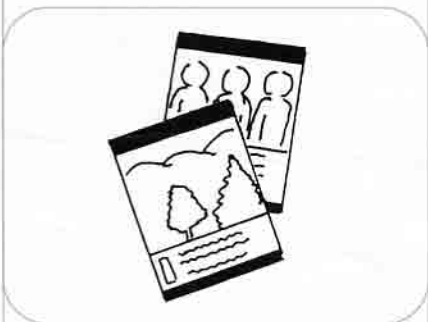
- ◎ 島中春光
- 小 鹿 勉
- 嶋 中 忠也
- 齐藤喜代光
- 宮 本 清七
- 平 山 順一



総合センター（コミュニティセンター的な機能を持つ多目的な新庁舎（役場・議会議事堂・資料館・情報センター・多目的ホール等の文化施設））を建設する。

### 議会広報委員会

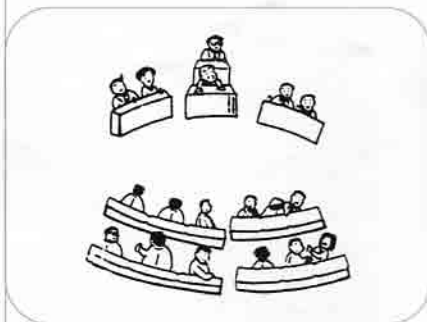
- ◎ 平山順一
- 阿部信一
- 阿部多喜男
- 中嶋保昌



議会広報の編集発行等に関する機関

### 議会運営委員会

- ◎ 長 島 三千次
- 佐藤 豪
- 明田 平苗
- 嶋 中 忠也
- 宮 本 清七
- 島 中 春 光



常任委員会とは、まったく別のもので、議会の運営に関することや議会会議規則、委員会条例に関する事項について調査し議案、陳情等の審査を行う機関

東郡町村議会議員  
研修会は1月24日、  
青森市で開かれまし  
た。

研修会では共同通  
信社青森支局長三笠  
博司氏が「構造改革  
と地方行政につい  
て」講演。

三笠支局長は、大  
物政治家の意外な一  
面や派閥の駆け引き  
など、政治部記者と  
して取材に当った経  
験を踏まえ、「地方交  
付税の拡大は難しい。  
地方でも行革をし  
なければならぬ一  
方で、政治も変えて  
いくことが重要な問  
題だ。」と述べた。



研 修 会 受 講

**議会のつぎき**

14年1/1〜14年3/31



大川平小学校児童議会訪問

- 1月 褒賞式、新年会
- 5日 消防出初式
- 6日 全員協議会
- 9日 防犯・交通安全祈願及び合同新年会
- 12日 ふれあい福祉スポーツ大会
- 18日 行財政町民会議総合センター建設特別委員会
- 22日 東郡町村議会議員研修会
- 23日 文化・スポーツ賞授与式
- 24日 大川平小学校児童議会訪問
- 27日 30日



議会運営委員会研修

3月  
1日 今別高校卒業式

- 2月
- 4日 緑十字会総会
- 5日〜6日 県選出国会議員・関係機関陳情
- 7日 三厩村褒賞式
- 8日 町社会福祉大会
- 10日 町民スキー大会
- 11日 町婦人演芸会
- 12日 議会広報委員会
- 21日 今別・三厩両町村議会議員交流会役員会
- 23日 行財政町民会議
- 25日〜26日 議会運営委員会研修
- 26日 県町村議長会総会



今別・三厩両議員役員情報収集

20日 管内小学校卒業式  
29日 今別・三厩両町村議会議員交流会役員による情報収集



産業建設常任委員会現場視察

- 4日 全員協議会
- 5日 議会運営委員会
- 11日〜18日 第34回定例会
- 12日 総務文教・産業建設常任委員会

◆熊谷町政から小鹿町政へと移り、3月定例議会にて平成14年度の予算が決定した。新規大型事業を極力抑え、継続中の事業を早期に完成し、身近な生活環境整備や福祉施策の充実、自治体経営のムダを省く行財政改革といった柱を軸に、今後の町政が展開される。

◆しかし、厳しい予算という理由で自治体が委縮しては地域の活性化は望めず、住民ニーズを反映した事業の選別、重点配分に努めなければならない。

◆議会報の紙面を通じて町民に議会活動と町政の情報、正確に、かつ分かりやすく伝えるのが、編集委員の重要な責務です。読者の皆さんもお気付きの点があれば、どんな感想・要望などをお寄せ下さい。

